

# 国宝興福寺五重塔 軒足場補強工事 仕様書

## I 工事概要

1. 工事名称 国宝興福寺五重塔 軒足場補強工事
2. 工事場所 奈良県奈良市登大路町48番地 興福寺境内地内
3. 工事期間 着工：請負契約締結後  
完了：令和8年9月30日
4. 工事内容 国宝興福寺五重塔の修理のための軒足場補強工事を行う。
5. 一般注意事項
  - (1)本工事は奈良県契約規則により実施する。
  - (2)この仕様書は概要を示すものであり、本工事の施工に際して設計書に明記のない事項および疑問を生じた場合は、すべて係員の指示に従って誠実に工事を遂行すること。
  - (3)仕様の変更に伴う資材および工数等で、比較的軽微と思われる増が生じた場合は、請負金額の変更はしない。
  - (4)工事場の管理は関係法規に従い、指定場所以外での火気使用および喫煙等は禁止する。また火災防止、人身事故等の防止には万全を期すること。
  - (5)素屋根内では火気を使用する工事は原則禁止とするが、施工上必要になった場合は、施工計画を作成の上、係員と打合せ、実施の可否について協議すること。
  - (6)本工事は史跡・名勝地内の工事であることを認識し、その価値を損なわないよう考慮して細心の注意を払いながら、工事を進捗すること。
  - (7)施工に当たっては請負者の現場担当者を定め、係員と工事工程を綿密に打ち合わせのうえ工事の進行・調整を図ること。また、工事に先立ち工程表・作業員名簿等を提出すること。
  - (8)工程上の調整を図る必要が生じた場合は、係員からの求めに応じて、興福寺出張所内で午前8:30より実施する朝礼に現場担当者を出席させること。
  - (9)工事に使用する材料はすべて係員の検査を受け、合格したものだけを使用すること。
  - (10)工事完了後は、工事場の片付け清掃を行い、不用材は場外に搬出した後、請負者が責任を持って産業廃棄物の許可業者に引き渡して処分すること。
  - (11)工程ごとに着工前から完了までの施工内容が判るように写真撮影を行い、撮影の際は作業内容等を記入した看板を掲示して撮影し、必要な場合は施工部位の寸法がわかるように務めること。工事竣工時にプリントにキャプションを付けて整理したアルバム3部とCD-ROM3枚を提出すること。なお、ヘルメットを着用していない様子が写っている写真は、提出物として一切認めないので注意すること。
  - (12)本工事は興福寺境内で施工されるため、興福寺が実施する法要を妨げないように工事を行うこと。月例法要の関係上、毎月1日は午前10時00分まで、毎月5日、8日、15日、17日、18日は午前9時30分までは作業を控え、特に騒音が生じる作業は禁止する。この他、境内で行事が執り行われる際は、その進行を妨げないよう工事の一時停止が必要となる場合があるので、これに従うこと。
  - (13)作業時間は原則として午前8:30から午後5:15までとし、土日祝祭日は休業とする。

(14) 境内を工事車両が通行する場合は徐行し、誘導者を付ける等して、安全に万全を期すこと。

(15) 危害防止及び衛生に関しては、労働基準法・同施行令・同施行規則、労働安全衛生法・同施行令・同施行規則等関係法規を遵守し、請負者の責任において有効な安全対策、防火対策を講じること。その他、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」、日本建築学会編「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 2 仮設工事」に準拠して施工すること。

## II 工事仕様

### 1. 軒足場鉄骨補強工事

- 1) 概要 素屋根 3FL の中間梁（Z5 レベル）に、4～6FL の軒足場の荷重を受ける補強鉄骨を入れる。
- 2) 内容 X2、X7、Y2、Y6 通からいずれも 2.2m 外側へ控えた位置の既存梁 G34M 上に大梁 B1 を架ける。大梁 B1 から素屋根内部へ向かって小梁 B2 を各面 8 本架け渡す。小梁 B2 間には水平ブレースを入れる。小梁 B2 の素屋根内部側は、既存軒足場の建地を受ける GPL を取付ける。既存軒足場の建地足下は、GPL の高さで切断し、GPL で荷重を受けると共に小梁 B2 に予め溶接した長さ 1m の単管とクランプにて抱き合わせる。既存建地の切断及び建地を受ける GPL の取付工事中は 4～6F の軒足場への立入禁止措置を講じること。梁同士の各接合部は原則高力ボルトによるものとする。また鉄骨（既存梁）への穴開けは、アトラーによる穴開けとする（φ22）。
- 3) 材料 大梁 B1・小梁 B2…H 形鋼 SS400 346\*174\*6\*9、水平ブレース…等辺山形鋼 SS400 L-90\*90\*6、単管受…SS400 φ-42.7\*2.4、L-150\*90\*9、飼物…[-100×50×5×7.5、高力ボルト M20、ガセットプレート、単管、クランプ(自在)、ブルマン(C-50)
- 4) 備考 鉄骨の製作及び施工にあたっては、製作図、施工計画図を事前に提出し、係員の承認を得ること。

### 2. 軒足場撤去工事

- 1) 概要 素屋根の軒足場（単管足場）を、2FL・3FL 共、東西面中央部約 14.4m、南北面中央部約 15.9m、高さ GL～3FL の中間梁（Z5 レベル）の間を解体する。
- 2) 内容 「1. 軒足場鉄骨補強工事」にて、4～6FL の軒足場の荷重を鉄骨梁で受けてから、下部の解体を実施する。解体にあたっては、作業の安全を確保すると共に五重塔本体への損傷が無いよう充分注意して解体する。解体した部材は、再利用するため、種類別に分類(直交クランプ・自在クランプを分ける、単管長さ・足場板長さ毎に分ける等)したうえで係員が指示する場所に整理整頓して集積する。

### 3. 後片付け

工事完了後、全ての不用材は場外に搬出して場内の清掃を行う。不用材があった場合は産業廃棄物として適切に処分すること。

#### 4. その他

- (1) 本工事に関する法令、規則、条例等を遵守すること。
- (2) 施工に際しては、既存の設備及び施設に損傷を与えぬよう万全を期し、万一損傷させた場合は、材料・手間とも請負者の負担で原状復旧する。興福寺境内地で工事車両の進入路に汚損き損が生じた場合は請負者の責任で復旧すること。
- (3) 工事現場は境内地内にある為、工事中の騒音・埃の飛散などに留意して施工し、これらが著しく発生すると予想される時は、請負者が必要な対策を講じること。

以上の内容で不明な点がある場合は、入札手続き等で案内する要領に従い書面(FAX可)を以て下記に問い合わせること。

奈良県文化財保存事務所 興福寺出張所 (担当：矢谷・新井)  
TEL・FAX 0742-23-5294